

高山市新型コロナウイルス総合窓口の対応状況について

1. 受付状況について

※上段：4/16～11/13 7か月間 下段：《 11/2～11/13 9日間 》

①対応件数 延べ9,985件（1日平均61件）
 《 90件（1日平均10件） 》

*うち、窓口4,798件(48%)、電話4,762件(48%)、メール103件(1%)、資料交付322件(3%)

《 窓口61件(68%)、電話29件(32%)、メール0件(0%) 》

[資料交付:県休業要請に対する協力金関係資料を渡すのみの対応]

②相談等項目別集計 延べ11,387件（1日平均69件）
 《 109件（1日平均12件） 》

区分	主な内容	件数（割合）	
事業者向け 給付・助成	県:休業要請に対する協力金（資料交付含む）	953(8%) 《0(0%)》	4,302 (38%) 《74 (68%)》
	市:家賃等に対する助成など	2,688(24%) 《64(59%)》	
	国:持続化給付金、家賃支援給付金など	661(6%) 《10(9%)》	
事業者向け融資	セーフティーネット保証認定、利子・保証料補給	1,114 (10%) 《2 (2%)》	
納付猶予・減免	市税、国民健康(介護)保険料、上下水道料	490 (4%) 《6 (5%)》	
個人向け給付	市:特別定額給付金、子育て世帯応援給付金	3,418(30%) 《2(2%)》	3,442 (30%) 《3 (3%)》
	国:休業支援金・給付金	24(0%) 《1(1%)》	
事業者の 雇用継続	雇用調整助成金	218 (2%) 《1 (1%)》	
個人向け貸付	緊急小口資金、福祉金庫資金	189 (2%) 《1 (1%)》	
市内消費喚起	プレミアム付き商品券、市内宿泊施設利用助成	819 (7%) 《1 (1%)》	
その他	感染拡大防止、支援等の要望、市営住宅関係など	813 (7%) 《21 (19%)》	
合計		11,387 (100%) 《109 (100%)》	

※複数の相談を受けた場合、それぞれに計上

③傾向や特徴

<事業者関連>

- ・ 11月上旬期の事業者向け給付・助成に関する対応件数は、74件(68%)と相談区分の中で最も件数が多くなっている。
- ・ 相談内容としては、市の事業者向けの助成に関するものが64件と大半を占め、感染防止おもてなし補助金(旧観光振興事業補助金)が30件と最も多く、次いで新ビジネス創出応援補助金が16件、商業機能持続化補助金(家賃・テナント料への助成)が15件となっている。
- ・ 申請書類の提出や対象経費の可否に関する問い合わせのほか、事業完了による実績報告書の提出などに関する相談があった。また、国の給付金(持続化給付金、家賃支援給付金)の申請に関する相談もあった。

<個人、労働者関連>

- ・ 当面の生活資金を確保するための緊急小口資金貸付などについては、11月上旬期は1件となり大幅に減少した。
- ・ 緊急小口資金貸付制度を利用後、改善に至らず、生活保護の申請を検討する案件もあった。

<その他>

- ・ 県が実施している新型コロナ対策実施店舗ステッカーの申請に関する問い合わせや、結婚式を延期しているが実施して良いものかなど、感染症対応に関する相談もあった。

問 合 先	
担当課	新型コロナウイルス総合窓口 (企画部 企画課)
課長	北村 幸治
係長	前田 研治 担当 小椋 直
連絡先	電話(直通 0577-36-0024) (内線 2097)